

北見溶接協会

溶接技術競技会

1. 実施要領

1. 目的 この競技会は、北見溶接協会における溶接技能者の技術水準を向上するとともに、北海道地区溶接競技会に出場する北見地区代表選手の選出を目的とする。
2. 組織
主催 北見溶接協会
共催 北海道溶接協会 北見・網走・紋別 各支部
後援 北海道地区溶接協会連絡会
(一社)北見工業技術センター運営協会
大会長 北見溶接協会 会長 安田 敦
実行委員長 同上 副会長 綱元亮太
副委員長 同上 副会長 高橋清美
副委員長 同上 副会長 松尾富彦
審査委員長 北見工業技術センター 課長 大友秀之
3. 会場 北見工業技術センター自動車実習棟
4. 日程
会場設営 4月11日(金) 13:15
競技(1組目) " 15:15~16:00
競技(2組目) " 16:10~16:55
(5月上旬 全道大会推薦者発表予定)
5. 種目 (一社)北海道溶接協会 技術競技会種目とする。
(競技会では本溶接のみを45分間で実施するものとし、開先加工は各自において済ませた状態の材料を持参すること。持参できない者には支部で材料を事前に販売する)
6. 参加資格 会員で JIS Z3801 または Z3841 のいずれかの資格を現有する者、又は取得したことのある者。
7. 参加人員 被覆アーク溶接の部: 8名
炭酸ガスアーク溶接の部: 8名(パナ4・ダイヘン4)
8. 参加費 無料 (昨年度に続き本年度も無料での開催とします)
9. 参加申込 所定の申込書により3月18日(火)まで事務局に申し込む。種目を重複しての参加は認めない。
10. 審査 北海道地区溶接技術競技会要領に準じ審査委員会が行なう。
11. 推薦 各種目とも上位各2名を北海道地区溶接技術競技会に北見地区の代表選手として推薦する。また、一企業に偏ることなく推薦することを目的とし、同一種目を1社で独占した場合は、他社の選手を繰り上げ推薦する。ただし、240点(合計点数の6割)以上獲得した者とする。

2. 競技要領

1. 北海道地区溶接技術競技会要領に準拠する。

ただし、開先加工は各自済ませたうえで、競技材を各自が持参する。持参できない者には支部で材料を事前に販売する（北見地区競技会では開先の調整作業は行わず本溶接のみを実施する）

被覆アーク溶接の部（t4.5 I形開先 160×125、t9 I・V・レ形開先 160×125）、炭酸ガスアーク溶接の部（t4.5 I形開先 200×125、t9 I・V・レ形開先 200×125）を実施。

※全道大会では下記の鋼種だが、地区大会はSS・SM・SNを不問とする。

全道大会使用鋼種…薄板：JIS G 3101 「一般構造用圧延鋼材」の SS400

中板：JIS G 3106 「溶接構造用圧延鋼材」の SM400A

※4.5mm、9mm共、指定箇所には邪魔板を取り付けて溶接を行います。

2. 各試験・検査を受け、上位各2名を全道大会への出場選手として推薦する。

3. 審査要領

北海道地区溶接競技会審査要領により審査委員が行なう。

提出された競技材は、表に示す審査項目及び配点から減点法により採点する。採点基準は別に定める。

審査項目・配点（両種目共通）

審査項目	外観試験		X線 透過試験	合計
	表面	裏面		
薄板	50	50	100	200
中板	50	50	100	200
合計	200		200	400

4. 全道競技会事前説明会の開催

上位各2名の選手を対象に、競技方法・違反事項等についての競技会事前講習会を、必要に応じて開催する。（日時等は後日案内）